

## 国内短信 ▶▶▶

街スパイスは7月14日～8月31日、「女性の、キレイと元気の素になる 夏のきのこメニューフェア」を実施する。ホクト(株)とタイアップし、大妻女子大学、実践女子大学、淑徳短期大学、女子栄養大学短期大学部、東京家政大学、目白短期大学の6大学・89名の学生が参加。レストラン街のシェフと共同で考案したきのこメニュー 54種類がレストラン街各店舗に登場する。今年の夏は節電の影響による「夏バテ」が心配。そこでヘルシーでビタミンたっぷりのきのこをテーマに新メニューフェアを実施することとなった。東武百貨店 池袋店は、2006年春から女子大生と協力したメニューを開発しており、今回は第16回目になる。

きのこは、発汗によって失われやすいビタミンB群や、免疫力をアップするβグルカンを含み、夏バテ対策として、積極的に取り入れたい食材のひとつ。また、腸内環境を改善し、美肌づくりに欠かせない食物繊維やビタミンも豊富に含んでいる。まさに、女性の健康と美に欠かすことのできない健康食品といえるのではないだろうか。

東京家政大学の内野美恵氏は、「学生がメニューを考案する過程において、そこにかかるコストや流通など、大学構内では学ぶことができないノウハウを体験できたと思っている。それだけに、大学



女子大生がメニューを考案

側にとって今回の企画は非常にありがたく感じている」と、学生への教育という面でも、大きな成果が得られたと語っていた。

### 新興国リスクを回避するための事例提供サービスを開始

英国ロジカ社の日本代表契約を持つ(株)インフォエックス(東京都文京区、朝雄博社長)は、新興国リスクに対して、リスク事例を提供するサービスを開始した。

同社のサーベイによると、新興国で失敗・リスクによる損失額は、500万円から3億円で約8割に上るといふ。これは驚異的な数字であり、事態は深刻であると考えざるを得ない。

「新興国の失敗」「新興国のリスク」のほとんどは、過去の類似事例からの学習で回避できている。それは、ユーザーからの相談が、日系・外資系含めて過去に新興国赴任経験者が直面してきた事例と同一であることが極めて多いからだ。

同社では、「約4,300の新興国失敗・リスク事例データベース」「グローバルに構築された、700名弱の新興国赴任経験者」「世界約4万人に上るロジカをベースとしたネットワーク」を基礎に、「新興国における、ユーザーの悩み/相談にマッチした過去事例と教訓を迅速に提供するサービス」を展開していく。

対象国はインド、中国、インドネシア、ブラジルなど。対象業種は製造業・消費材・ハイテク・通信・インターネット・メディア・卸売・小売・サービス(金融をのぞく)。対象機能分野は販売、M&A、生産・調達、労務・人事など、具体的には代金回収、ジョ

イントベンチャー、労働争議、資金、組織など多岐に渡る。

問い合わせはインフォエックス(TEL 03-5879-4558)。

### NEXCO 中日本、新しいハイウェイフード発表

NEXCO 中日本(中日本高速道路(株)のグループ会社、中日本エクシス(株)は、運営するサービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)において、新スタイル・ハイウェイフード「ペコリアーノ・デリ」を7月1日に発売した。

「おなかぺこり」と「デリカテッセン」を掛け合わせた「ペコリアーノ・デリ」は、NEXCO 中日本グループの女性・若手社員で構成されたプロジェクトチームが企画した女性客をターゲットにしたヘルシーフードである。開発には、日本フードアナリスト協会のフードアナリスト「食のなでしこ」たちが協力し、味の監修を行っている。

港北パーキングエリア(下り)では、ハマボークロール。富士川サービスエリア(上下)では、富士の国ボークウインナーロールなど女性が片手で気軽に食べられるヘルシーフードを展開している。

中でも東名:上郷サービスエリアの「野菜畑のトルティーヤ」は、ビタミンCがほうれん草の4倍もあるルッコラやビタミンB群であるイノシトールを含有するアイスプラント、ズッキーニ、グリーンアスパラ、にんじんの若葉など数種類の野菜を4種類の生地から選んで包むことができる。

また、東名:浜名湖サービスエリアでは、スシロール～三色姫～を販売。地元食材を盛り込んだ3種類の寿司ロールをベジタブルシ